

学力検査の結果を配布しました。

さる4月14日第2回授業日に、初等部2年生から高等部1年生まで、国語と算数・数学で実施した「標準学力検査(教研式NRT)」の結果が届きました。一人一人の成績の分析用紙を、見方の説明プリントとともに本日お子さんにお渡ししたところです。ご確認ください。

このテストは、学年のはじめに児童生徒の基礎的・基本的な学力の定着を相対的に確認し、今後の学習指導の指針とするためのものです。このテストの特徴は

- 1 相対評価法による検査である。
- 2 「確かな学力」について、(日本)全国基準に照らして客観的に把握する。
- 3 学習指導要領に準拠し、各教科の「内容」に合わせた領域で構成されている。
- 4 領域をさらに細分化して、教科書の単元のみとまりや内容のみとまりでの集計結果や、一問ごとの回答を分析することで、具体的な指導対策に活用できる。

相対評価なので、お子さんの点数が全国平均(★印で示してあります)のどこに位置するかが一目で分かるようになっています。具体的なお子さんの強みや弱点の把握に役立つと思われるので、長い夏休みに向けて、ご家庭での学習計画立案の参考にしてください。

以下に、3つの学年の傾向を抽出して掲載します。



電子黒板で書き順を学んでいます。

	教科	全国平均よりも高かった項目	全国平均よりも低かった項目
初等部 3年	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>話の内容を聞き取ること</li> <li>主語述語の正しい使い方</li> <li>句読点の使い方</li> <li>文学的な文章を読むこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝わるように話すこと</li> <li>話題に沿って話すこと</li> <li>カタカナ、漢字の読み、書き、筆順</li> </ul>
	算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>足し算と引き算の関係</li> <li>数の意味や表し方</li> <li>表やグラフ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図形(正方形、直角三角形等)</li> <li>長さ、かさ</li> </ul>
初等部 6年	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明文を読んだり、場面を理解したりすること</li> <li>敬語の使い方</li> <li>表現の工夫、倒置</li> <li>共通語で話す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古典を読むこと</li> <li>漢字の読み書き</li> <li>登場人物の理解</li> <li>図と関連して書く</li> </ul>
	算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>整数と小数の仕組み</li> <li>分数とその計算</li> <li>小数のかけ算と割り算</li> <li>体積、百分率、円グラフ、帯グラフ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>円柱とその展開図</li> <li>単位量あたり、測定値の平均</li> <li>立体図形の性質</li> </ul>
中等部 2年	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学的な文章を読むこと</li> <li>文や文節、単語についての理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字を読む(全う、弾むなど)</li> <li>漢字を書く(垂らす、険しいなど)</li> <li>表記や語句に注意して書くこと</li> </ul>
	数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字と式</li> <li>正の数、負の数</li> <li>1次方程式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面図形</li> <li>比例と反比例</li> </ul>



総じて、全校的に学年相応の漢字の読み書きが苦手な状況です。W校では、保護者会企画として「夏休み読書マラソン」も企画されているところですが、最低1日1回は日本語の本を読み、できれば簡単な感想をかいいたり、日記を付けたりして、日本語の読み書きの力の育成に努めるようにしましょう。

児童生徒の皆さんのいっそうの頑張り、ご家庭のご理解とご協力をお願いします。